



生命と神話が息づく新しい日本のふるさとづくり

# 雲南市総合計画を策定しました

紹介シリーズ①



9月に行われた雲南市議会定例会において、総合計画の基礎となる基本構想が原案通り可決されました。

11月には、来年4月にスタートする総合計画についてその概要を紹介していきます。

## 総合計画とは・・・

市民の皆さんと行政が協働で進める雲南市のまちづくりの根幹となる計画です。

総合計画は、日々変化する社会の変化などを見極めた上で、本市の特性や課題などを踏まえ、将来の雲南市をどのようなまちにしていけるのか、また、そのためにどのような施策や事業に取り組んで行くのか、これらを総合的・体系的に取りまとめた計画です。

自治体が行う全ての施策や事業は、この総合計画をもとに実施されます。また本計画は行政だけでなく、市民の皆さん、事業者、民間団体の活動の基本指針としての役割を持っています。

## 基本構想

### 基本理念

「生命と神話が息づく新しい日本のふるさとづくり」

今日、わが国は、「ふるさと」がもつ多様な豊かさ、例えば自然環境や伝統文化、生活様式などを急速に失いつつあります。

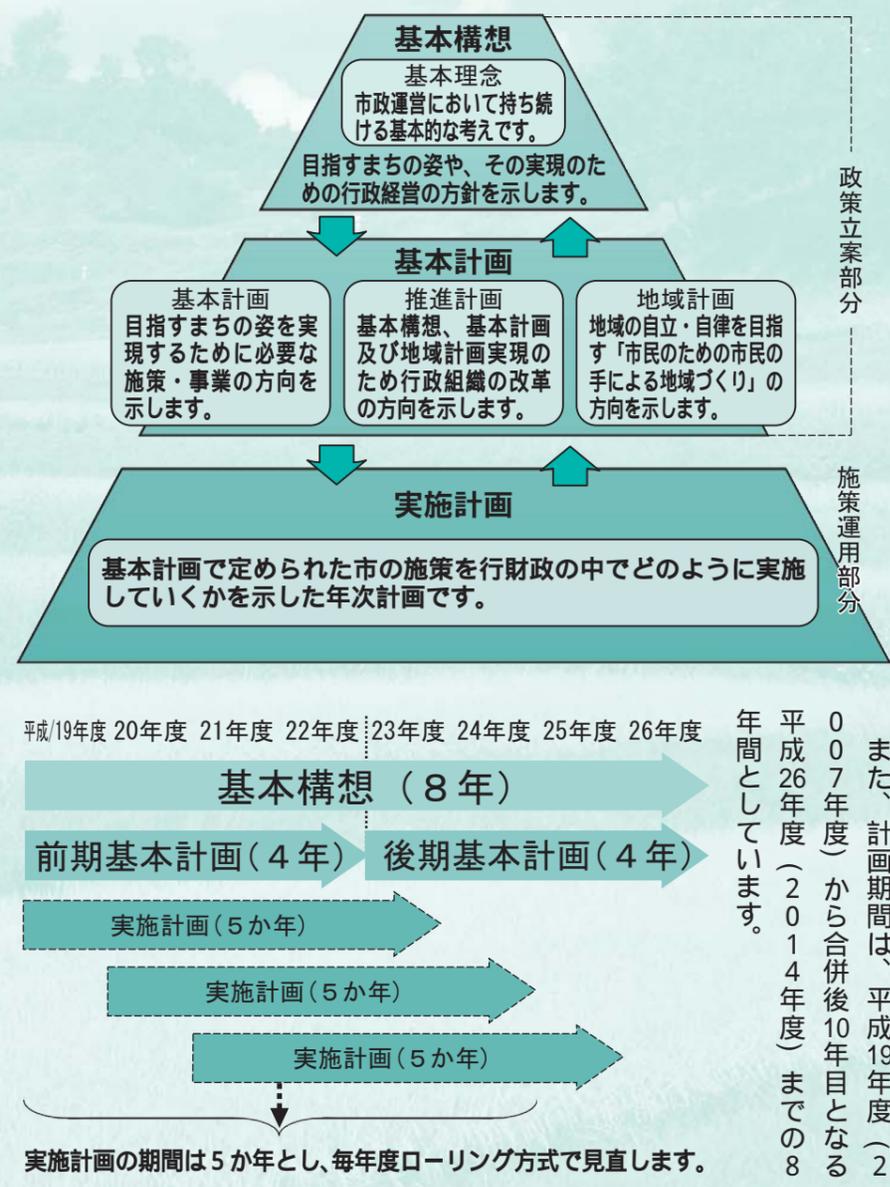
しかし、私たちの「ふるさと」には、豊かな森林や斐伊川の流れにみられる穏やかな自然、神話に象徴される銅鐸やたたら製鉄の歴史遺産、桜や螢にみられる生命の多彩な輝き、新鮮で安全な農作物、子どもから高齢者までが共に学びふれあう姿、地域に暮らす人々の笑顔と温かい人情といった魅力が数多くあります。

かつてこの地に神々が住まれ、日本のふるさとづくりが始まったことに思いを馳せれば、私たちのふるすとは、まさに「生命と神話が息づく」日本のふるさとでもあります。

ふるさとが本来もつ豊かさや美しさを活かしながら、現代的な価値観や地域にあったライフスタイルを創造する「新しい日本のふるさとづくり」をこの雲南市から全国に向けて提案するとともに、ふるさとの五つの恵みを提唱し、ふるさとで生きる豊かさを大切に継承、発展させていきます。

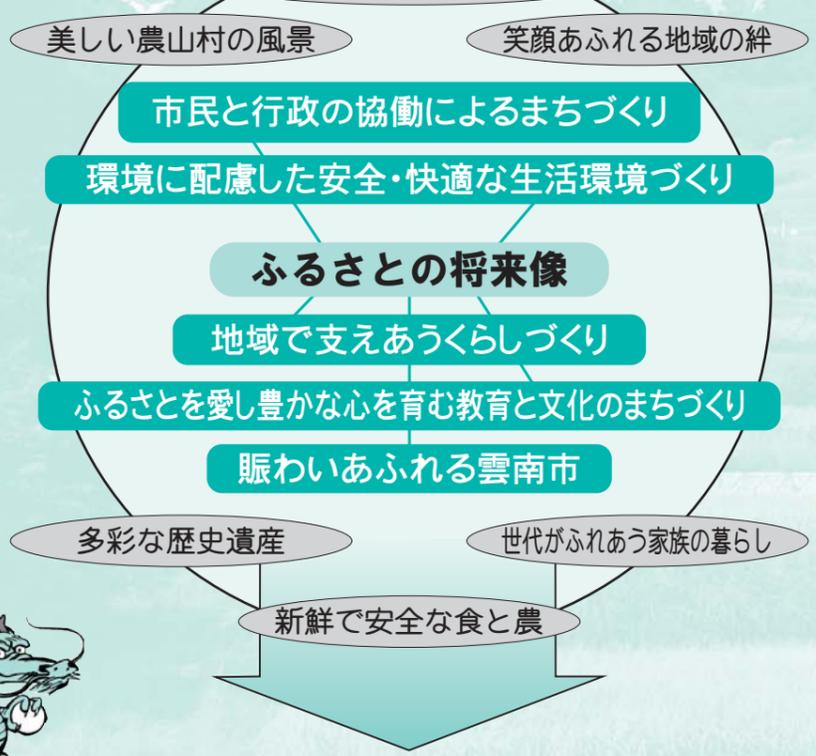
## 構成と期間

総合計画は、将来のまちづくりの基本理念や将来像、その将来像を実現するための政策の方向性、具体的施策など図に示すように、大きく「基本構想」「基本計画」「実施計画」の3つで構成されています。



この理念を実現するため、基本構想では「五つの恵み」を活かした、五つの将来像と目指すべき指標を示しています。

### ふるさとの5つの恵み



定住人口の拡大 45,000人 (27年推計/39,459人)	交流人口の拡大 90万人 (17年実績/67万人)	地域雇用の拡大 22,000人 (27年推計/19,200人)
---------------------------------------	---------------------------------	---------------------------------------

まちづくりには、将来のまちのあるべき姿を見据えた長期的な視点が重要であり、今回ご紹介した基本構想は、向こう8年間の市の行政運営と公共的な活動をする全ての市民の活動の根幹となります。次回は、将来像の実現に向けた、具体的な目標や施策・事業についてお知らせします。計画書は、本年12月の発行を目的に作成中です。計画の内容などについての問い合わせは政策推進課へお願いします。



今後は、目指すまちの姿であるこの五つの将来像の実現に向けて、市民と行政がともに力をあわせ取り組んで行くことが必要です。